

## 高取山のクリーンハイク 25名が参加

6月7日(日)第37回クリーンハイク(清掃登山)が全国いっせいに行われました。私が所属するオオヤマレンゲ山の会は高取山を担当。会員以外にも多くの方が参加し、総勢25名で近鉄壺阪山駅前を出発。

昔の面影を残す高取町の街道を歩いて街外れの砂防公園に。



### 国見から大和盆地を眺める参加者

公園を過ぎて登山道にかかると、全員が「ゴミ拾い」を開始。藪の中からビニール袋を引っ張り出したり、谷川に下りてジュースの空き缶を拾うなど、それぞれが大活躍。拾いながらも年々ゴミが少なくなっていることを確かめつつ、いよいよ高取城址に。

かつての威容を偲ばせる、高く大きな石垣が幾重にも張り巡らされており、初参加の人から「すごい石垣やなあ」「大きなお城だ」と感嘆の声。

最上階の城郭の周囲はうっそうたる大木に囲まれ、その切れ目から吉野山とその背後の山並みが展望されます。また反対側からは金剛～葛城～二上山の懐かしい姿を望めます。将に万緑、そしてその緑の中を優雅に飛ぶ一匹の蝶、あの翔び方、あの姿はアサギマダラです。もう南方から渡ってきたのですね。この美しい小さな蝶のどこに大海の波濤を越え、一千km以上の旅をする力と能力があるのでしょうか。

アサギマダラに見惚れ、緑そして路傍の五百羅漢にも元気もらって、ゴミを拾いながら山をくだり、ウツギ、サイハイラン、ササユリ、タツナミソウ、ヤマゴボウ、シライトソウ、スイカズラ、テイカカズラ、ホタルブクロなどの花をも楽しみつつ、壺阪寺横に下山、再び花の街道を通って、街中の公園でゴミの計測。ゴミは31kgもありました。参加者の皆さん本当にご苦労様でした。



上 ヤマゴボウ



上 サイハイラン



拾ってきたゴミの計測

## ニ上山だより

### 次々と登場する夏の花たち

**ムラサキシキブ** (紫式部・クマツヅラ科  
ムラサキシキブ属)

日本史上最高のスーパースター名を戴いた植物。紫の実を輝かせながら鈴なりにする秋の姿はよく知られているが、夏に咲く花は小さくて地味。近縁種のコムラサキもよく似るが、どちらもニ上山でひっそりと咲いている。



写真が悪いが、ムラサキシキブ

**ツルアリドオシ** (蔓蟻通・アカネ科ツルアリドオシ属)

真っ白のかわいい花だが、小さくて注意していないと見過ごしてしまう。林床でも遊歩道脇でもよく咲いている。秋にみのる丸い真っ赤な実はよく目立って魅力的。



ツルアリドオシ

**ホタルブクロ** (蛍袋・キキョウ科ホタルブクロ属) 別名チョウチンバナ

筒状の花に蛍を入れてちょうちんにしたと言う。と言って蛍がこの花に寄って来る訳ではない。蝶もこの花には訪れないそうだ。蝶のあの長い口吻も花の奥にある蜜までは届かないらしい。



上ホタルブクロ 下オカトラノオ

この花の花粉を運ぶのは専らマルハナバチで、筒の中にもぐりこんで蜜をいただく際に体に花粉をつけて別の花の雌しべに届ける。花の形は植物とハチが効率よく助け合うために進化したものであろうか。

**オカトラノオ** (岡虎の尾・サクラソウ科オカトラノオ属) 写真松下義一氏

白い小さな花が密に集まった花穂を垂らしている。この姿を虎の尻尾に見立てたもの。下から次々に咲いていくが長い間花を見せてくれる。 以上 94号

